



# つくる、つくろう通信

## 陣内やすこ

八王子市議会議員・無所属市民派  北野台在住

編集／発行：市民自治の会(陣内やすこ)

〒192-0912 東京都八王子市絹ヶ丘2-11-7 TEL 042-636-8158 FAX 042-636-8640

E-mail [jinnaiya@mbk.nifty.com](mailto:jinnaiya@mbk.nifty.com) URL <http://homepage3.nifty.com/jinnaiya/>



(外観イメージ)

## 秋にもGO！(一部着工)か。

### JR八王子駅南口再開発事業

#### 陣内やすこの 8つの疑問

- ① 5月に計画が変更されました。  
住宅部分300戸 → 390戸／商業スペース4層 → 3層。  
賑わいを！ という再開発事業の目的が変わり、住宅優先の再開発ではないでしょうか。
- ② 民間の住宅事業に、なぜ、112億円以上もの公費が投入されるのでしょうか。  
\*駅前広場事業だけなら、32億円程度の事業費で済みます。
- ③ 事業費の度重なる増大が不安  
\*野猿街道の機能回復道路に6億円(市負担?)、地下駐輪場に10億円(市負担：3億5000万円。住宅整備公社負担：6億円)など。  
\*新市民会館整備費は、当初70億円といわれていたのですが、いまや100億円をくだらないといわれています。
- ④ 中央地区地域事務所の再開発ビル内の設置は、再開発事業成功のため？  
\*全体としての地域事務所の整理は議論のさなかです。
- ⑤ 南口再開発事業の全体的青写真が見えない  
\*9月の近隣住民への説明会においても、質問が集中。地区住民との協議が充分とはいえません。
- ⑥ 特定業務代行者は、地権者グループ。設計者・監理者である(株)大林組は来年7月まで市の入札指名停止です。さらに下水道談合で市から損害賠償請求もされています。
- ⑦ 世論調査による市民の重点施策要望で再開発を望む声はごくわずか。1位は高齢者福祉。
- ⑧ 市民会館の耐震補強工事は約15億円。なぜ、100億円以上もの公費を出して、市民会館を建て替える根拠が不明。跡地利用も決まっています。

#### 市長答弁

南口再開発事業は本市の長年の夢。いよいよ工事着工が現実のものとなったわけです。一日も早く、南口を整備してほしいというのは、多くの市民の期待だろうとおもっております。賑わいについては、南口だけでなく、北口との連携によって、中心市街地全体の賑わいをどう作っていくかということは、大きな課題だろうと思っております。中心市街地の再生を図ることが、都市経営という視点から見たときに大変重要なことであり、市民の多くの方々からも期待されていると思います。


南口再開発事業さえその全体像が見えないというのに、いつの間にかやら大きく話が広がっています。中心市街地がもつとにぎわうように。これは誰もがおもっていることです。具体論が何も見えてきません。



# 2007年 第3回定例議会が開かれました(9月10日~10月17日)

## 医療制度改革の影響、 何が変わる、どう変わる!?

高齢者への負担増が目白押しです。いよいよ来年4月からは、70歳以上の高齢者の医療費窓口負担が1割から2割へアップし、また、75歳以上の後期高齢者医療制度が始まろうとしています。具体的なことが何も決まっていなかったこともあって、市民への説明はほとんど行われていません。不安が先行する医療制度改革について、質問しました。

 : 高齢者にも応分の負担を、ということだが、高齢者の生活は大変さびしいものとなっています。高齢者に応分の負担を求める妥当性について説明願いたい。

支払い方法について、一律年金からの天引きという形。年金から引かれられない人(年額18万円以下の場合)は窓口の徴収。介護保険の普通徴収率は年々下がっています。払えない人への資格証(注1)の発行を禁止することを明記すべきです。医療、介護の両方からのサポートがあって、初めて成り立つ高齢者の生活です。どちらからも外れないような対応をお願いします。

国は、サービスについて一般の診療報酬と別立てにしているとっています。患者ごと、病気ごとに包括・定額制にする医療報酬体系が検討されているとのこと。差別医療につながるものです。利用者の声を反映した国民の議論ができるよう、情報公開を行ってほしい。


さらに、基本健診は努力義務になってしまいました。実施の方向とこのことだが、費用はどうなるのか。無料が維持できるのか。また、いままでも基本健診に使われていた金額、これらの用途はどうなるのでしょうか。

**高齢者・障害者担当部長** : 世代間の公平性、制度の安定性を図るため、介護保険と同様に10%の負担を求めたところです。

低所得者の方につきましては、均等割り分につきましては減額を考えています。

診療報酬のところでは、骨子案によると、在宅医療の推進、長期入院の是正、あるいは、頻回受診、入院、重複投薬の防止等の取り組みを求めています。

検診の費用は、高齢者に負担がかからないように、検討を進めていきます。

 : この医療制度はあらかじめ予算が決まっているといえます。リスクの高い人だけを集めるという前例のない医療制度で、平均年齢が高ければ高いほど、広域連合の負担が大きくなる。そのことから、世代対立を生むことにもつながります。

日本の医療費の窓口負担はOECD諸国の中でも高く、国民医療費のGDP比は、7.9%、先進諸国の中でも第17位です。決して高くない総医療費で、患者負担が多いということです。医療費が増えることはある意味で当然と考えなければならない。それでも高齢者に応分の負担が必要なのでしょう。

**副市長** : 本制度は、高齢者の医療に要する費用は国民全体で支えることとし、高齢者本人をはじめ、国、東京都、そして各自治体、さらに現役世代にも支援金としてご負担いただく、そういう仕組みで成り立っているものです。国民全体が支えるということになる。国政レベルでさまざま議論が尽くされたわけで、直接負担いただく分と税金でまかなう分の均衡をとるということで、このようになったと考えている。しかし、保険料試算については、多くの課題があるとかんがえているので、高齢者の負担を少しでも軽減するために、努力していきます。

(注1) 国保での資格証の発行は、八王子市の場合、1800件あまり。自治体によって、発行の基準がそれぞれ違う。しかし、どこでも75歳以上の高齢者には発行しないようにしている。

国でもこの制度のひどさがやっとなってきたようで、見直しの検討が始まりました。凍結を求めます。八王子としては、2月頃から説明会を始めるとのことですが、この制度についての勉強を重ね、利用者の声を市へ届けていきたいと思います。

他に

- 2) 地域サービスのあり方について
- 3) 学校図書館の意義について
- 4) 南口再開発、それでもGO!か? について質問しました。



## 75歳以上の高齢夫婦世帯(妻の年金はわずか)の場合 (モデルシュミレーション)

	2007年度	2008年度
年金収入	2,500,000	2,500,000
国民健康保険税(後期高齢者医療費)(妻分)	102,900	155,000(予想) <sup>注1</sup>
介護保険料(夫)	96,200	116,300 <sup>注2</sup>
(妻)	54,300	(64,600)
社会保険料計(A)	41,900	(51,700)
住民税	199,100	282,100
所得税	30,100 <sup>注3</sup>	43,000
税金計(B)	17,000	15,800
税金計(B)	47,100	58,800
合計(A)+(B)	246,200	340,900

\*八王子市の税金教室の資料を基に陣内が作成

\*あくまでもモデルケースであることをご了承ください

注1 東京の場合、平均95,000円から155,000円の幅で予測されている

注2 2006年度の介護保険制度の改悪で、サービスは使えなくなる、保険料は上がるのダブルパンチ  
2009年度には、保険料の見直しがある。

注3 2007年の税源移譲で、前年の3倍以上

### 高齢者夫婦の 月18万円での生活の場合 (仮想シュミレーションです)

食費・住居費以外に

- 医療費 高額医療費世帯限度額として  
月44,000円(最高負担額)  
\*一生に使う医療費の49%を70歳以上になって使う
- 介護サービス利用料 月20,000円  
(ひとり1万円使ったとして)  
\*要介護認定者のうち、75歳以上の高齢者は81%
- 入院となると(ホテルコスト・食費)  
月94,000円(最低でも)





(東京新聞 2007年9月24日より)

# 産科医不足のなか、助産師との連携で、 安心・安全なお産を！

## 意見書の提出

「安心、安全な出産の環境整備を求める意見書」を全会派一致で採択しました。

昨年、奈良県で妊婦の緊急受け入れ先がなく、たらいまわしされて死亡、という痛ましい事件がありました。そして、つい先日、同じ奈良県で同様なケースでの赤ちゃん死産ということで、事件の教訓が生かされていませんでした。いかに出産の環境が人手不足になっているかということが、わかります。

そんな中で、助産院での出産の安全を強化する法案が来年4月から施行されるのですが、救急搬送体制の確立が先決です。そこで、八王子市議会として国に意見書を提出しました。お産の専門家である助産師の充実と活用が急がれます。



## お産事情 Q&A

**Q**：八王子には、分娩を取り扱っている助産院はいくつあるの？

**A**：2ヶ所の助産院が入院分娩を取り扱っているよ。どちらも地域のママたちにとって、頼もしい味方です。

**Q**：いま、助産院で出産する割合はどれくらい？

**A**：大体1.2%くらいかな。でも、その多くは大変満足度音高いお産となっているという報告もあるんだよ。お産って、病気じゃないし、9割近くが正常出産で医療介入の必要なしといわれています。もちろん、健診はしっかり受けることが前提。

**Q**：ふーん。でも、何かあったら、心配ということで、多くの人は大きな病院に行くのかしら。

**A**：もちろん、助産院は正常出産だけを取り扱うところで、何か、緊急の事態があれば、処置ができる病院へ搬送されます。奈良県のケースは、搬送が受け入れられずに、たらいまわしにされた結果の事故です。助産院だけでなく、一般産科診療所でも起こりうることなんだよね。

**Q**：産科医不足で、大病院は救急を受け入れられない状況とも言えるということか。八王子でも産科医不足なの？

**A**：今年の3月、東海大学病院の産科診療が医師不足から廃止になりそうになったんだよ。診療所も廃院したり、お産をとり扱わなくなってきたんです。

**Q**：助産師さんってどんなことをする人なの？

**A**：ミッドワイフといって、産む人に寄り添う人、という意味があるんだよ。まさに、腰をさすったり、おなかの赤ちゃんの様子を見たり、お産ともなれば、自然に出産できるようサポートしてくれるんだよ。母乳指導もしてくれるしね。ちなみに、我が家の4人の子どもたちは、みな助産院で産声を上げたんです。お産が楽しかったという、笑われるけどね。

**Q**：新聞で「院内助産所」という記事を読んだことがあるけど。

**A**：日赤などでは、基本的にお産は助産師が扱い、何かあったときだけ、医者の協力を得るということになっているそうです。イギリスなどでは、助産師が出産のときだけ、病院を借りて、そこでお産をするというシステムができてるようだよ。オランダも家庭分娩が5割近くあって、何かあったときの緊急体制が整ってるから安心なんだよね。

**Q**：今回の意見書は、そういった安心・安全に産むための環境整備を求めるものなんだね。

**A**：八王子だけではなく、多くの自治体から同様の意見書が挙がっていると聞いています。

これをひとつの契機に、国や自治体でも早く環境整備をしてほしいものですね。そして、助産師をもっとたくさん養成して欲しいですね。

## 編集後記

安倍首相の突然の辞任。やめるべきときにやめないで、なんでいまごろ、とその無責任さにあきれられるばかりです。そしてそれに続く総裁選挙も国民無視の政治的談合です。

使えるものならなんでも使うという保守の論理です。1月の市長選を前に八王子でも、政治的駆け引きがうずまいています。いま、八王子に求められているのは、具体的なまちづくりビジョンです。

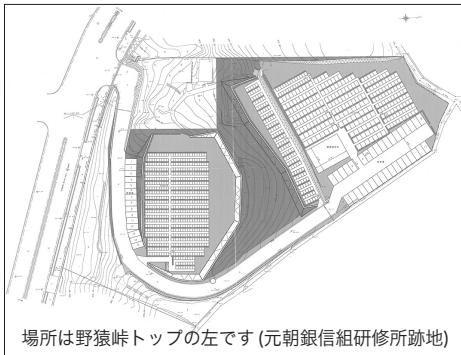
## 大林寺による墓地開発をやめさせる請願が継続！となりました。

墓地計画地のすぐ隣にある高嶺町会の方々を中心に、開発を差し止める請願が288名の署名をつけて、提出されました。私の所属する厚生水道委員会で審議されたのですが、問題点大ありです。

煙の出ないお線香、におわないお線香などもあるので、喘息等の被害に対しては許容範囲ではないか、といった意見もありましたが、10月から施行される「墓地条例」をクリアできるかどうか、疑問です。

この墓地条例では、開発にあたっては、近隣100メートル以内の住民との合意をベースにしているのですが、とても十分な話し合いができるような環境ではありません。

また、5 km以内であることが管理範囲とされているので



場所は野猿峠トップの左です(元朝銀信組研修所跡地)

すが、小比企にある大林寺からは4 kmの距離に当たります。お寺の檀家の墓地増設というより、営業目的の墓地開発の性格が濃厚です。

また、入り口は峠トップをまがって、すぐ左からの侵入経路となっているのですが、交差点もあり、お彼岸時などの交通渋滞や交通事故の危険も指摘されました。

自転車でこのあたりをウォッチング。この場所は、長沼公園のトップにつらなり、平山城址公園へと抜ける尾根伝いの良好な緑が残されているところ。多摩丘陵自然公園の一部でもあり、これ以上の緑の消失は許されません。八王子の緑が墓地開発に狙われています。これ以上の墓地開発は必要ないとおもいます。いろいろなお声、お聞かせください。



### 第4回定例議会日程(予定)

11月22日	告示	
11月30日	一般質問	
12月3日	一般質問	*傍聴にお出かけください。
12月4日	一般質問	
12月5日	一般質問	
12月6日	本会議	
12月7日	総務企画・厚生水道委員会	
12月10日	文教経済・都市建設委員会	
12月17日	本会議最終日	

## 陣内やすこの活動日誌

- 7月31日～ 厚生水道委員会行政視察
- 8月2日 (松山・岡山)
- 8月3日～ 八王子まつり(5日まで)
- 11日 「日本の青空」試写会
- 12日 夏祭り
- 20日～ 全国地方議員交流会(21日まで)
- 23日 自治体議会政策学会研修会
- 24日 23区とことん討論会
- 25日 夏祭り
- 26日 総合防災訓練
- 27日 会派代表者会(オブザーバー)
- 28日 総務企画委員会・厚生水道委員会
- 29日 第10回居場所カレッジ
- 30日 地域のありかた検討委員会(傍聴)
- 31日 ジェンダーフォーラム IN 嵐山
- 9月1日～ 議会改革フォーラム(2日まで)
- 2日 劇団「ホワイトホース」観劇
- 3日 全員協議会
- 5日 議会運営委員会
- 8日 プラumnクスツェレによる市民討議会(多摩市傍聴)
- 講演会「介護保険Q&A」
- 10日～ 第3回定例議会

## インフォメーション

### シネマ&トークのお知らせ

「三池—終わらない炭鉱の物語」  
三池炭鉱の歴史を残そうとする行政、元炭鉱夫、市民など多くの人々の想いに支えられた映画。さながらもう一つの日本の現代史を見るがごとく。

12月8日(土) 13時30分～16時30分

- トーク：熊谷博子さん(監督)
- 場 所：クリエイトホール視聴覚室
- 主 催：「三池」を観る八王子の会
- 共 催：シネマとフェミニズム研究会
- 後 援：文化庁 ■問い合わせ先：042-636-8158



### カフェミーティング(議会報告会)

- 10月28日(日) 10時～12時 南大沢文化会館第4会議室  
14時～16時  
みんなの居場所(042-636-8158)
- 10月29日(月) 18時～20時  
カフェケン(042-656-2044)

